

2023年 11月 改訂（第1版）

貯法 : 室温保存

防疫用殺菌消毒剤  
**ステリガス™**  
 Steri-Gas™

日本標準商品分類番号

877329

承認番号 20200AMY00020000

販売開始 1990年4月

**1. 警告****1.1 ガスを吸入したり、液体を誤飲しないこと。****1.2 ガスを眼、皮膚、衣服に接触させないこと。****3. 組成・性状****3.1 組成**

成分・含量	酸化エチレン (C <sub>2</sub> H <sub>4</sub> O : 分子量 44.05) として 99.0%以上含む。
-------	---

**3.2 製剤の性状**

性状	本品は0～5℃に於いて無色澄明な液体であつて、気化させるとき、わずかなエーテル臭を生ずる。
----	---

**4. 効能又は効果**

医療器具・機材及び衛生材料の殺菌

**6. 用法及び用量**

特定酸化エチレンガス滅菌器（ステリ・バック™ ガス滅菌器シリーズまたはZクレープ ガス滅菌器EJMシリーズ）の一滅菌工程ごとに本品一缶を用いる。

**8. 重要な基本的注意**

酸化エチレンによる滅菌に習熟した人が、製造販売元の指示に従って使用すること。

**14. 適用上の注意****14.1 薬剤使用時の注意**

- 14.1.1 取扱い作業場所には、局所排気装置等の曝露防止措置を講じること。
- 14.1.2 取扱い中は必要に応じ呼吸用保護具、保護手袋等を着用すること。
- 14.1.3 本品を滅菌器に装着する前に、保護用の黄色いキャップを取り外すこと。
- 14.1.4 極めて可燃性が強いので、火気、火炎、火花の近くで使用しないこと。
- 14.1.5 電気：静電気による火花を避けるため、全ての機器にアース（接地）をすること。
- 14.1.6 有毒性：急激に酸化エチレン（エチレンオキシド：EO）を吸入すると、吐き気、嘔吐、めまい、虚脱感、胸痛、呼吸器官の刺激、神経毒などを起こすことがある。
- 14.1.7 多量に被曝した場合：高濃度で吸入すると死に至る場合がある。気道刺激、胸部緊張、頭痛、悪心、嘔吐、下痢、ふらつき感、めまい、脱力、うとうと状態、チアノーゼ、調整失調、けいれん、昏睡、遅発性肺損傷、即時性あるいは遅発性の皮膚刺激や疱疹、アレルギー性皮膚症状を引き起こすことがある。
- 14.1.8 液体EOが眼に接触した場合：重度の障害を起こすことがあり、濃度の高いEO蒸気に接触すると、眼に刺激を起こすことがある。
- 14.1.9 液体EOが皮膚に接触した場合：後になって水疱状の化学的火傷を起こすことがある。
- 14.1.10 その他起こりうる遅発性の健康障害：神経系の損傷、白内障、生殖毒性、発ガン性、変異原性等人体を害する恐れがある。
- 14.1.11 臭気：高濃度ではエーテル様の臭いがある。取扱い者が気づいたり、発見しないうちに毒性発現レベルを被曝することがある。
- 14.1.12 応急処置：いずれの場合も直ちに医師の救急処置を受け

ること。

- (1) 吸入した場合：直ちに新鮮な空気を吸い、身体をあたためる。場合によっては人工呼吸、酸素吸入を施す。吐き気、嘔吐がある場合には、安静にして、症状がみられなくても、医師の手当てを受けること。症状が遅れてでることがあるので、医師の観察の下におくこと。
- (2) 眼に接触した場合：直ちに眼を水で最低 15 分間洗い流すこと。
- (3) 皮膚に接触した場合：すぐに汚染した衣服を脱ぎ、接触した部分を水で最低 15 分間よく洗い流し、汚染した衣服は洗濯をしてから身につけ、汚染した皮靴は廃棄処分すること。
- (4) 誤飲した場合：少なくとも 2 杯の水を飲み、無理に吐き出さないこと。意識不明の人に対しては口からなにも与えないこと。

**18. 薬効薬理****18.1 作用機序**

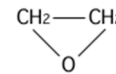
酸化エチレンは微生物のDNAを構成するヌクレオチドに対してアルキル化剤として作用し、微生物を不活化または死滅させる。<sup>1)</sup>

**19. 有効成分に関する理化学的知見**

一般的名称：酸化エチレン（Ethylene Oxide）

化学名：1,2-epoxyethane

化学構造式<sup>2)</sup>：



分子式：C<sub>2</sub>H<sub>4</sub>O

沸点<sup>2)</sup>：10.73℃

液体比重<sup>2)</sup>：0.8969

蒸気密度（空気=1）<sup>2)</sup>：1.49（40℃）

融点<sup>2)</sup>：-111.3℃

引火点<sup>2)</sup>：<-17.8℃

発火点<sup>2)</sup>：429℃

爆発限界<sup>2)</sup>：3.6～100 Vol%

溶解度<sup>3)</sup>：水に完全に溶解する

**20. 取扱い上の注意**

- 20.1 可燃性：空気中の可燃限度は、濃度 3%～100%。マッチや火のついた煙草など発火する恐れのあるものは、滅菌器の近くにおかないこと。
- 20.2 適度な換気下で、高圧ガス保安法、労働安全衛生法に従って保存すること。高圧ガス保安法では、40℃以上にしないことと規定されているが、製品の特性からなるべく涼しい所に保管すること。
- 20.3 廃棄については、使用済みの缶はエアレーションを行って、EOガスを気散させ、産業廃棄物として処分すること。焼却しないこと。缶に穴をあけないこと。

**22. 包装**

100g [カートリッジ]（ステリ・バック™ ガス滅菌器モデル 400C,4XL,5XL,GS5,GS5X 及び Zクレープ ガス滅菌器 EJM-4,EJM-5 専用）

170g [カートリッジ]（ステリ・バック™ ガス滅菌器モデル 8XL,GS8,GS8X 及び Zクレープ ガス滅菌器 EJM-8 専用）

**23. 主要文献**

- 1) 佐々木次雄ほか：ISO/JIS 規格準拠 ヘルスクエア製品の滅菌及び滅菌保証 2011；80-82
- 2) 新関次郎：Surface Control & 洗浄設計 1984；23：62-69

3) スリーエム ジャパン株式会社：ステリガスカートリッジ SDS  
2021；10-3495-8

#### **24. 文献請求先及び問い合わせ先**

スリーエム ジャパン イノベーション株式会社  
〒141-8684 東京都品川区北品川 6-7-29  
TEL 0570-000-470 (カスタマーコールセンター)

#### **25. 保険給付上の注意**

本剤は保険給付の対象とならない (薬価基準未収載)。

#### **26. 製造販売業者等**

##### **26.1 製造販売元**

スリーエム ジャパン イノベーション株式会社  
〒141-8684 東京都品川区北品川 6-7-29

ステリガス、ステリ・バックは 3M 社の商標です。